

新刊案内



『きりぎりす』	太宰 治/著	立東舎	T/タオ
『サンショウウオの歌が聞こえてくるよ 生物部』	森川 成美/作	新日本出版社	T/モシ
『生きるためのブックガイド 未来をつくる64冊』	岩波ジュニア新書編集部/編	岩波書店	T019/イキ
『いつかあなたに出会ってほしい本 面白すぎて積読できない160冊』	田村 文/著	河出書房新社	T019/タア
『13歳からのメンタルヘルス “たった1人の自分”を大切にする』	林 恭弘/著	総合法令出版	T146/ハヤ
『地べたから考える 世界はそこだけじゃないから』	ブレイディみかこ/著	筑摩書房	T302/フミ
『「コーダ」のぼくが見る世界 聴こえない親のもとに生まれて』	五十嵐 大/著	紀伊國屋書店	T369/イタ
『高認があるじゃん! 高卒認定試験完全ガイド 2025~2026年版』		学びリンク	T376/コウ
『学校では教えてくれないゆかいな日本語』	今野 真二/著	河出書房新社	T810/コシ
『狼と羊皮紙』 12	支倉 凍砂/著	KADOKAWA	TB/ハイ
『スラムに水は流れない』	ヴァルシャ バジャージ/著	あすなろ書房	TF/ハハ
『夜の日記』	ヴィーラ ヒラナンダニ/著	作品社	TF/ヒビ



ティーンズのココロ通信

令和7年7月1日 発行

Eメール : info@lib-yama.jp

HP : <https://www.lib-yama.jp>

山口市立中央図書館

259 号

〒753-0075 山口市中園町7-7

TEL : 083-901-1040

FAX : 083-901-1144



食べる



今月のテーマは「食べる」です。

今月は、「食べる」に関連するコラムや物語、レシピ本を紹介しています。

これから暑い日が続く中、そんな時こそしっかりと「食べる」ことを意識して体力を養いましょう。



●『お菓子の本の旅』

小手鞠 るい／著 講談社 T／コル

中1の^{はるか}遙はアメリカにホームステイ中。楽しみにしていたのに、英語の発音をからかわれて以来部屋に引きこもっています。そんな時、持ってきた荷物の中から見覚えのない本を見つけました。タイトルは「お菓子の本」。全て手描きのお菓子のレシピ本です。誰のものか分からないその本に載っているレシピは、遙に動き出すきっかけをくれることになりました。読んだ人に作った人、食べた人皆に勇気をくれる本にぜひ触れてみてください。(S. E)

●『良(い)いかげんごはん』

たかぎ なおこ／著 オレンジページ 596.0／タナ

本書は親しみやすい絵と文で、著者のごはんライフが紹介されているコミックエッセイです。夏の章にある「冷静と情熱のあいだごはん」とは？ 食事がつい冷たい物ばかりになっている時、温かい物を一品用意して「セーフよね」と自分に確認している状態を指しています。夏の一人暮らしあるあるです。他にも共感できるエピソードが満載。この本の他、著者が結婚しお母さんになってからの『お弁当デイズ 夫と娘とときどき自分弁当』もオススメです。(R.S)

●『満点レシピ 新総^{にいそう}高校食物調理科』

須藤 靖貴／著 新潮社 TB／スヤ

^{にいやま}新山総合技術高校食物調理科、通称シヨクチョウに通う^{はいし}恵士とクラスメート29人のお話。ここは卒業と同時に調理師免許を取ることができる。このクラスは3年間、担任もメンバーも変わらない。何か物事を決める時は「ギロン」と言って「30-0」で全員一致するまで話し合いが行われる。まさに「同じ釜の飯を食う」状態で3年間を過ごす。これまで与えられた課題をこなすだけの生徒たちが卒業作品展では自分たちが企画し調理を行う。課題にぶつかりながらも乗り越えていく恵士たちの成長していく姿を描く。(T. O)

●『syunkon カフェごはん レンジで絶品レシピ』

山本 ゆり／著 宝島社 596／ヤコ

料理コラムニストである山本ゆりさんのレンジ調理に特化したレシピ本です。家がないものをわざわざ買って使いきれなかったり、卵黄だけ使って卵白が余ったり、どうすれば…？といった心配がいらぬ実用的なレシピばかり掲載されています。簡単なのに本の通りに作ると美味しく、火も使わないので初心者の方にもおすすめです。また、レシピだけではなくレシピへのコメントやコラムも載っており、ユーモアが^{あふ}溢れていてとても面白いです。(S. E)

●『アイスの旅』

甲斐 みのり／著 グラフィック社 588／カミ

アイスと言えば何を心に浮かべますか。この本の著者は幼い頃のクリスマスの思い出から、大人になった今でもアイスクーキが特別な存在なのだと「はじめに」で綴っています。ノスタルジックな雰囲気でも幕をあげたのちは、全国のアイスが次々と紹介され、特にコーンの写真がずらりと並んだページは壮観！ いつか行ってみたいと思えるお店に出合ったり、昔食べたアイスを見つけてその味を追体験したり、本を通して色々な場所や時代へとアイスの旅を楽しんでください。(R.S)

●『花福さんの戦争ごはん日誌』

花福 こざる／著 ぶんか社 T383／ハコ

「戦争ごはん」のイメージは？…「おいしくない」「味がしない」「おなか一杯たべられない」マイナスのイメージしかありません。漫画家と花屋を営む著者が、編集者の提案で戦時中のごはんを再現し食べてみる。美味しいと思う物も多く、現在市販されている材料は食べやすいみたいだ。マンガで描かれていることもあり、^{ひそつかん}悲壮感などは感じない。だが当時は全ての物に不自由があり、お腹いっぱい食べることはできず、今がどれだけ恵まれているかと改めて思う。(T.O)